

cino

F780BT-GV

クイックスタートガイド



2013 年度 1.2 版

*

はじめに

FuzzyScan について

この度は FuzzyScan イメージャーF780BT をお選び頂きまして誠にありがとうございます。FuzzyScanF780BT は広範囲のアプリケーションにおいて作業性・生産性の効率向上に貢献します。このクイックスタートガイドはご購入後直ぐにお使い頂けるように各種の設定を説明しております。

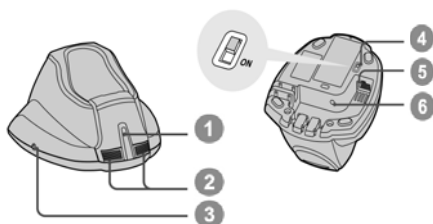
各部名称

F780BT



- 1 : リンクインジケータ
- 2 : ステータスインジケータ
- 3 : ビーパー
- 4 : スキャンウィンドウ
- 5 : トリガー
- 6 : リセットボタン

HB2110 スマートクレードル (Base) ※通信充電クレードル

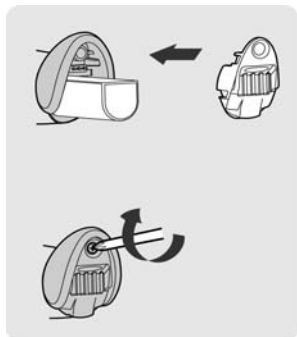


- 1 : センターインジケータ
- 2 : サイドインジケータ
- 3 : ページング/リセットボタン
- 4 : USB バスパワースイッチ
- 5 : ホストインターフェースポート
- 6 : DC パワージャック

免責事項

- ・ PC Worth (以下 PCW) 及び弊社は、本書に記載された使用およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります
- ・ 本書の技術的仕様や編集上の誤り等で結果発生した損害については、PCW 及び弊社は一切の責任を負いません
- ・ 本書には著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象になります

バッテリーの取り扱いについて



バッテリー充電時間：

ACアダプター充電：推奨4～5時間

USBポート充電：推奨7～8時間

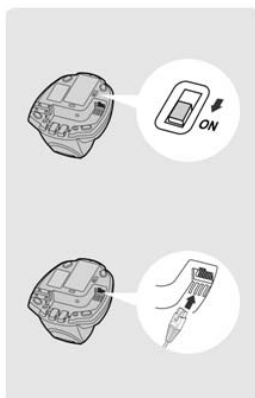
- ①：バッテリーをスキャナーに装着してください
- ②：奥まで差し込みグリップエンドキャップを装着してください
- ③：プラスのドライバーを使ってネジを締めキャップを固定します

*端子部分に金属を接触させたり液体物と接触しますとショート等の恐れがあり**危険**ですのでご注意ください

*初期状態ではバッテリーに十分な充電がされておられませんのでお使い頂く前に十分な充電を行ってください(ACアダプター使用時：推奨4時間以上)

*長期にわたってご使用頂きますと経年劣化によりバッテリーの性能が低下しますのでバッテリーは定期的な交換を行ってください

電源供給を USB バスパワーで利用する場合



この機能は、ACアダプタを利用せずにバッテリー給電と通信を行うことができます。

この機能を利用する場合は、USBバスパワースイッチをONにしてください。





※導入時はOFFにセットされています。

スキャナとクレードルの確認表示について (LED & ビープ音)

◆インジケータの名称◆

スキャナ		クレードル(HB2110-G)	
① : ステータス		① : センター	
② : リンク		② : サイド (右・左)	

◆初期化状態の表示◆





スキャナ		クレードル(HB2110-G)	
ステータス	リンク	センター	サイド
赤・緑点滅 			赤・緑点滅 
	—	—	

◆読み取り関連の表示◆

状態 (ビープ音)	スキャナ		クレードル(HB2110-G)	
	ステータス	リンク	センター	サイド
読み取り成功 (1回)	緑点灯 	—	読み取りの状態に 関係ありません。	

*ビープ音の音程と音長は設定によって異なります。

◆バッテリー関連の表示◆

状態 (ビープ音)	スキャナ		クレードル(HB2110-G)	
	ステータス	リンク	センター	サイド
充電中 (セット時：1回)	赤点灯 	—	バッテリーの状態に 関係ありません。	
充電完了	緑点滅 	—		
充電残量(小) (1回)	赤点滅 	—		
充電残量(最小) (8回)	赤点滅 	—		
充電残量(無し)	—	—		

◆バッチスキャンニングモード関連の表示◆

状態 (ビープ音・備考)	スキャナ		クレードル(HB2110-G)	
	ステータス	リンク	センター	サイド
バッチスキャンニング モード	2秒に1回 緑点灯 	—	—	—
バッチデータ転送 (連続のクリック音)	—	青点滅 	—	—
メモリフル (2回)	赤点灯 	—	—	—

◆無線関連の表示◆

状態 (ビープ音・備考)	スキャナ		クレードル(HB2110-G)	
	ステータス	リンク	センター	サイド
無線接続中 (PAIR モード)	—	2.5 秒に 1 回 の点滅 	青点灯 	—
無線接続中 (PICO モード)	—	2.5 秒に 1 回 の点滅 	青点灯 	緑点灯  
無線未接続中 (PAIR モード PICO モード 共通)	—	2 秒に 3 回 の点滅 	—	赤点灯 
ペアリング中*1 (連続のクリック音)	—	青点滅 	—	—
無線接続復旧 (4 回の上昇音)	—	—	—	—
無線接続消失 (4 回の下降音)	—	—	—	—
無線構築失敗 (2 回)	赤点灯 	—	—	—
無線接続確認 (6 回)	—	—	—	—

*1：ペアリング中の表示は既に初回のペアリングを行っている前提です。

無線モード

FuzzyScan F780BT-GV はホストデバイスと接続する為に複数の接続モードが用意されています。

PAIR モード（1対1通信）

PAIR モードはスマートクレードルと1対1で無線接続を行います。

ホストには USB(HID)、USB(COM)、PS/2 キーボードウェッジ、RS232 シリアルインターフェースで接続することが可能です。

PICO モード（1対複数スキャナーでの通信）

PICO モードは、1台のスマートクレードルに対し最大7台のスキャナを接続することが出来ます。複数のスキャナとの接続が必要な場合に有効な接続機能です。もし PICO モードで接続確立後に全ての無線接続を非接続にしたい場合はスマートクレードルのリセットボタンを3秒間押してください。スキャナ単体の無線接続を非接続にしたい場合はスキャナで“アンインストール”バーコードを読ませてください。



* 下記のモードに関しましてはユーザーズガイドをご参照下さい。

- HID モード（Bluetooth HID）
- SPP モード(マスター/スレーブ)

PAIR モード（1対1通信）



- ①：ホスト機器の電源を入れてください。
- ②：スキャナとクレードルが赤・緑の交互の点滅になっていることを確認してください。（アンインストール：初期化状態）
- ③：スキャナで“PAIR Mode”バーコードを読み取ってください。
スキャナのステータスインジケータが赤に変わります。



アンインストール



PAIR Mode

- ④：スキャナをスマートクレードルにセットしてください。
1回短いビーブ音が鳴り無線接続を開始します。
スキャナは連続したクリック音と青の連続点滅で無線接続を開始します。
無線接続が安全に完了すると4回の上昇音でお知らせします。

無線接続が正常に行われた時の LED 表示

スキャナ	：リンクインジケータが 2.5 秒に一回の青点滅
クレードル	：青点灯

無線接続の失敗あるいは 20 秒以上スマートクレードルにセットされなかった場合、2 回のビーブ音が鳴りペアリングモードを解除します。

- ⑤：ホスト接続側のインターフェースケーブルのコネクタ形状を確認して、該当するホストインターフェースのバーコードをスキャンしてください。
- *：インターフェースを USB(COM)にてご使用の場合は PC に USB (COM) ドライバーのインストールが必要です。

PICO モード（最大1対7通信）



- ①：ホスト機器の電源を入れてください。
- ②：スキャナとクレードルが赤・緑の交互の点滅になっていることを確認してください。（アンインストール：初期化状態）
- ③：スキャナで“PICO Mode” バーコードを読み取ってください。
スキャナのステータスインジケータが赤点灯に変わります。



アンインストール



PICO Mode

- ④：スキャナをスマートクレードルにセットしてください。
1回短いビープ音が鳴り無線接続を開始します。
スキャナは連続したクリック音と青の連続点滅で無線接続を開始します。
無線接続が安全に完了すると4回の上昇音でお知らせします。

無線接続が正常に行われた時の LED 表示







スキャナ	：リンクインジケータが 2.5 秒に一回の青点滅
クレードル	：青点灯

無線接続の失敗あるいは 20 秒以上スマートクレードルにセットされなかった場合、2 回のビープ音が鳴りペアリングモードを解除します。

- ⑤：③～④と同じ接続手順で、別のスキャナをスマートクレードルに無線接続出来ます。最後に接続するホストインターフェースのバーコードをスキャナで読み取り、セットアップを完了してください。

* “システムインフォメーションコマンド” で各スキャナ ID の確認がすることが出来ます。

ホストインターフェース




PS/2 (DOS/V) KBW Standard Mode	PS/2 (DOS/V) KBW Turbo Mode
	
RS232 Serial	USB HID Turbo Mode
	
◆USB HID Standard Mode	USB Com Port Emulation
	

※USB Com Port Emulation インターフェースを利用する場合、事前に専用の USB シリアルドライバーをインストールする必要があります。

日本語キーボードの設定（工場出荷時は USA・導入時は JPN）



サフィックスの設定

RETURN ◆初期値◆	なし
	
TAB	
	

トリガーモード

Trigger Mode◆



TriggerMode はトリガーを握ると発光します。

バーコードをデコードするとスキャナーは待機状態になります。

Presentation Scanning Mode



周囲の環境を利用してバーコードを自動検知するモードです。デコード後一定時間が経過すると自動消灯しは周囲に変化があると自動発光します。

注：周囲照明の環境が十分でない場合、適切に動作しない場合がございます。

バイブレーターコントロール

①～④の順番にバーコードを読み取ってください。(工場出荷時設定は ON)

①：設定開始



②：バイブレーターコントロール



↓③：ON/OFF どちらかを選択して読み取ってください。↓

ON



OFF◆導入時の初期値◆





④：設定終了



アウトレンジスキヤニング


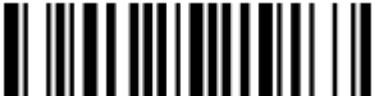
スマートクレードルとの通信が未接続になった際にバーコードをスキヤンするか設定できます。“スキヤン可能”で設定した場合、スキヤンしたデータは一時的にメモリに蓄積して無線通信可能エリアに入ると自動的にデータ送信を再開します。(初期値：無線未接続状態ではスキヤン不可)

Enable Out-of-range Scanning (無線未接続状態でもスキヤン可能)	Disable Out-of-range Scanning◆ (無線未接続状態ではスキヤン不可)
	

※データをリアルタイムに送信するモードの時の設定です。



プレゼンテーションスキヤニング

プレゼンテーションスキヤニングはユーザーがハンズフリーモードで使用する際に有効です。「Presentation Scanning Auto-sense」を有効にするとスマートクレードルまたはスマートスタンドにセットすると自動的にプレゼンテーションモードに切り替わります。(初期値：無効)

Enable Presentation Scanning Auto-sense(自動発光：有効)	Disable Presentation Scanning Auto-sense(自動発光：無効)◆
	



バッチスキャンニングモード

バッチスキャンニングモードはデータをスキヤナのメモリに蓄積して一括で送信する機能です。蓄積することが出来るデータ量は EAN-13 シンボルで最大 20,000 件のデータを蓄積することが出来ます。「Enter Batch Scanning」をスキャンして下さい。

Enter Batch Scanning (バッチスキャンニングモード：開始)	Exit Batch Scanning (バッチスキャンニングモード：終了)
	

データ転送方法

バッチスキャンニングモードの蓄積したデータの転送方法を選択できます。

Transmit Stored Data by Scanning Barcode Command (“Transmit Stored Data”バーコードでデータ転送) ◆初期値◆

Transmit Stored Data by Placing Scanner onto Cradle (スキヤナをクレードルにセットしてデータ転送)


※ “Transmit Stored Data” バーコードは次のページにあります。

データ転送バーコード

バッチスキャンモードのデータ転送用バーコードです。

下記のバーコードをスキャンすると蓄積データを送信します。

※Transmit Stored Data by Scanning Barcode Command 設定が必須です。

Transmit Stored Data (蓄積データの転送)



データ編集バーコード

バッチスキャンモードのデータ編集用バーコードです。

Clear All Stored Data

(蓄積したデータを全て削除)



Delete Last Scanned Data

(最後に読み取ったデータの削除)



※Delete Last Scanned Data はデータ収集時のみ有効な機能です。

システムコマンド

出荷時設定に戻す (Factory Default)



※ バーコードを読み取ると設定すべてが初期状態に戻ります。

※ ペアリングも解除されますのでご注意ください。










System Information List (システム内容を表示します)



※スキャナのバージョンやID番号を表示することが出来ます










ブザーコントロール

読み取り時のブザーに関する設定です

①：設定開始	②：ブザーコントロール
	 
↓③：下記より希望の設定を1つ選択して読み取って下さい。↓	
無し	低音
	
中音 ◆初期値◆	高音
	
最高音	
	
④：設定終了	
	






グッドリードデュレーション

読み取り時のブザーに関する設定です

①：設定開始	②：グッドリードデュレーション
	 
↓③：下記より希望の設定を1つ選択して読み取って下さい。↓	
短い	標準 ◆初期値◆
	
長い	最長
	
最短	
	
④：設定終了	
	






ブザーコントロール

スキャナの起動音に関する設定です。

①：設定開始	②：ブザーコントロール
	
↓③：下記より希望の設定を1つ選択して読み取って下さい。↓	
起動音を鳴らす◆初期値◆	起動音を鳴らさない
	
④：設定終了	
	







ビーピングコントロール

無線接続音に関する設定です。

①：設定開始	②：ビーピングコントロール
	
↓③：下記より希望の設定を1つ選択して読み取って下さい。↓	
無線接続/切断音を鳴らす◆初期値◆	無線接続/切断音を鳴らさない
	
④：設定終了	
	

バッテリーロービープ

バッテリー残量低下の警告音に関する設定です。

①：設定開始	②：ビーピングコントロール
	 
↓③：下記より希望の設定を1つ選択して読み取って下さい。↓	
バッテリー残量低下のビープ音を鳴らす ◆初期値◆	バッテリー残量低下のビープ音を 鳴らさない
	
④：設定終了	
	

サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



EAN-13



EAN-8



Code39



Codabar



Interleaved 2 of 5



Code128



GS1-Databar(RSS-14)



GS1-Databar Limited



GS1-Databar Expanded



GS1-Databar Expanded Stacked



GS1-128



